

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-89491 (P2005-89491A)

【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-014

【出願番号】特願 2003-320720 (P2003-320720)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/36 (2006.01)

B 0 1 D 63/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/36

B 0 1 D 63/00 5 0 0

C 0 9 K 3/10 D

C 0 9 K 3/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 29 日 (2006.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

ポリラクトン系ポリオールとしては、グリコール類やトリオール類の重合開始剤に、
 - カプロラクトン、 - メチル - - カプロラクトン、 - メチル - - カプロラクトン
 等、および / または - メチル - - バレロラクトン等を有機金属化合物、金属キレート
 化合物、脂肪酸金属アシル化合物等の触媒の存在下で付加重合させたポリオールが挙げら
 れる。ポリラクトン系ポリオールの分子量は 2 0 0 ~ 5 0 0 0 である。なお、イソシアネ
 ート基末端プレポリマーを得るうえでポリラクトン系ポリオールを用いる場合、膜シール
 材の製造時に於いて成形加工性に優れるとの観点から、分子量は 5 0 0 ~ 3 0 0 0 である
 ことが好ましい。